



# こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース N0133号 2021年3月26日  
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F  
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp  
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」  
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

## 第13回定期大会を1600人の峰で迎えよう 春の組織拡大月間スタート



中野春闘共闘の「東京怒りの総行動」



三多摩春闘共闘の立川宣伝

CU東京は4月、5月に春の組織拡大月間にとりくみます。コロナ禍で働く人の環境は厳しさを増しています。長引くコロナの感染拡大で、非正規雇用を中心に、パート・アルバイトの解雇や休業、時短で収入の減少が広がって

ます。正規雇用の労働者にも影響は広がっています。

### 労働組合が必要です

働く人が声を上げられる環境が必要です。その決定的な役割を担っているのが労働組合です。CUのように誰でも、一人でも相談できる労働組合の存在が決定的です。CUが組織を大きくし、労働相談の力を強化することが求められています。

### 組織の7%、109人目標

春の拡大は組織の7%、109人が目標です。1600人突破をめざします。3月28日に春の学習・交流集会で、学び、学習、意思統一をはかります。全支部が目標を達成しましょう。新しい組合のリーフをつくります。すべての組合員に届けましょう。声をかけ、協力を呼びかけましょう。大会は7月17日（土）、1600人で迎えましょう。

## 支部の拡大月間への決意



### CUみなと 高橋孝書記長

CUみなとは次期大会（7月開催予定）までに60人のCUみなとを目標に取り組んでいます。しかし現状は若干の拡大をしていますが、反面脱退も生まれ、現状維持になっています。春の拡大月間で脱退を上回る拡大を目標に60人に一歩でも2歩でも近づけて7月の定期大会は60人達成できるようがんばります。



### CUあだち高島章寿書記長

足立では大きな病院の障害を持った薬剤師の方の解雇を解決し、今年になって、5件の労働相談を解決してきました。5月までに毎月5人、15人の拡大に取り組みます。55人の組合員の皆さんに、組合拡大の紹介をお願いする手紙を出しました。みんなで力を合わせて拡大を頑張ります。

# 最賃1500円を求める署名にご協力ください

東京春闘共闘白滝事務局長にお話をうかがいました

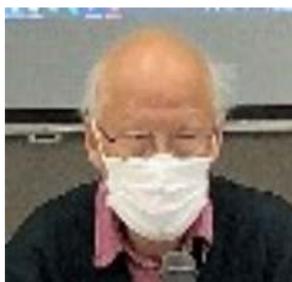
昨年秋のパート・バイト全都時給調査では、2700件余の求人情報からの集計によると全都平均1151円、前年比1円しか上がらない異例の結果でした。コロナ禍での業況悪化の影響

はありますが、20年の地域最賃が据え置きになったことが最大の原因です。19年に生活実態による最低生計費調査を大規模に実施しましたが、20代単身者が8時間労働で普通に暮

## 変化を取り込んだ頼りになる運動を

文京支部山田書記長に文京の最賃運動について寄せていただきました。

### 運動が盛り上がってきました



「最低賃金を1500円に」と運動が盛り上がってきました。なぜ盛り上がってきたかということですが、「そのことで利益を得る人（労働者）」がどんどん増えてきたからでしょう。影響率（最低賃金が上がることによって賃金が上がる労働者の割合＝厚生労働省）調査では、2010年4.1%が、2019年では16.3%になっています。

文京区内で保育園が急激に増えました。保育士募集のポスターには「パート職員時給1200～」となっています。大日本印刷久喜工場で全印総連の労働組合が集めたアンケート（非正規労働者40人ほどの集計）で、時給が900円から1000円台が77%、続いて1100円台が9%とありました。時給1500円が実現すれば、どれだけ多くの労働者が救われるでしょう。

### 変化にマッチした運動に

労働組合運動は、労働者の置かれた状態が大きく変化していることに着実にマッチした運動を展開しなければ、労働者から見放されます。組織は大きくなれません。「労働者を非正規にすることが敵の攻撃なのだ」と言っているだけではだめで、その労働者の状態の変化、要求の変化を取り込んだ頼りになる運動にすべきです。それが時給1500を求める運動です。

一方、これが成功しているかというところでもありません。CU文京も駅頭で「最賃、時給1500円」を一生懸命訴えています。なかなか浸透しません。なにが原因なんだろうかと考えます。「みなさん1500の時給で、一日8時間働くと月給にして……。」と解説付きで訴えていませんか？

### 太い流れにするのも労働組合の役割

つまり、「一日8時間労働で暮らしていこう」などと考えている労働者、解説抜きで、「1500円なければ暮らせないじゃないか」と反応する労働者がいなく（少なく）なっているのではないだろうか？ そこまで日本の労働者の状態は追い込まれ、落とし込まれているということではないだろうか。

幸い「時給1500円」のスローガンはある程度労働者の希望に引っかかって来ました。これを太い流れにするのも労働組合の役割だと思います。CU東京の運動にどうやって取り込もうか、まだ五里霧中の状態ですが、いずれ見つかるはずだと思って日々活動しています。



らずには、23区でも三多摩でも時給換算1600円台から1700円台が必要という試算が出ました。この調査は全国の26都市で行われ、どこでも1600円程度となっています。全国一律1500円めざす運動の根拠です。野党共闘は共通政策にそれを盛り込み、自民党内でも賛同が広がりつつあります。政府と国会等に最賃1500円を求める署名にご協力ください。

コロナの影響下での暮らしを守り、消費回復にも賃金引き上げが肝心です。中小企業への手厚い支援を合わせて求めていきます。同じ調査では、練馬区在住の子育て世帯において30代夫婦と子供二人の家族で年収648万円・月割54万円(税社保込み)が必要との結果も出て、メディアも肯定的に報道しました。社会の維持には賃

金の底上げと昇給・諸手当の引き上げは欠かせません。そのことが21春闘で大きく問われています。

CU東京は春の運動で、最賃の大幅引き上げの運動を位置付け取り組みます。最賃署名は組織人数を上回る署名を集めます。

春闘では横断幕を掲げ各地でアピールしています。4月30日には大塚駅で最賃の大宣伝をします。

CU東京には共済制度があり、万が一を支援。2020年1月から12月の間に34人が入院共済を受けられました。「組合に入っていて助かった」と声が寄せられています。

## CU東京の 共済制度・組合員の助け合い

◆入院見舞金制度  
《病気・ケガの入院に見舞金》  
病気・傷病問わず連続4日以上の上院で、1日当たり5千円の入院見舞金給付。(年間60日限度です。65歳以上は30日が限度。入院共済は満70歳以上の組合員および協力組合員は適用されません。事由発生してから1年以内の申請制限があります。交通事故は対象外。)

### ◆交通災害共済

《全組合員対象に全労連共済に加入》  
・国内における交通事故による死亡 200万円。  
・身体障害 8万円～最高200万円。  
・入院 日額3千円。 実通院 日額千円。

### ◆慶弔制度

《組合員本人が対象》  
・結婚・出産祝金を給付 結婚および子供が生まれたとき、祝金1万円。  
・組合員死亡 弔慰金3万円。  
申請手続書類また規定等あります。支部・本部に問い合わせてください。

### 「仲間の助け合い共済」

◆ありがとうございます  
給付を受けた三多摩協議会の大江拓実さん  
思いもかけない、15日間の入院で、共済会から7万5千円の給付を受けました。5月の下旬、やけに体かだるいと思い、熱を測ったら38度。病院に行っても、コロナが騒がれていたこともあり、薬もくれず自宅待機。10日たっても熱が下がらず、清瀬複十字病院に紹介され、PCR検査を受け陰性が確認され即入院、14日目にやっと熱が下がり退院に。高熱の原因は不明のままで医者は「よくあるんですよ」と。CU東京「仲間の助け合いの共済」有難うございました。

## 青年協 学習シンポ開催

東京地評青年協は2月21日にラパスホールにおいて『「勤労者の貧困と政治」～いま私たちにできること～ 2・21学習シンポジウム』を開



催しました。学習シンポジウムの目的は「「深刻化する勤労者の貧困の背景にある政治の責任を明らかにし、労働組合が政治に働きかけることの意義を学び、青年組合員が主体的に政治変革にかかわること」にあります。当日は12組織48人（オンライン参加を含む）が参加しました。

シンポジウムでは5つの行動提起（①選挙にいかよう、②SNSなどを活用しながら学んだことを周りに広めよう、③周りに署名や投票のお願いを試みよう、④青年部などで学習会を企画してみよ

う、⑤青年協の取り組みに参加しよう）を行いました。学習会では、大西連さん（認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長）から、これまで景気に支えられていて表面化しなかった脆弱な生活基盤の人たち（非正規・低収入・住み込み・ネットカフェ生活者など）がコロナ禍によりあぶり出された実態が報告され、労働組合の課題として、民間団体やメディア、政治家に対して情報発信をしながら、草の根で勤労者の生活を支えていく仕組みをつくる必要性に言及しました。

東京医労連の青山光さん（東京医労連書記長）からは、2021年は東京都議選挙や衆議院選挙の年であることから「私たちの暮らしの中で政治・選挙がどんな役割を果たしているのか」を具体的な事例をあげて解説し、組合員に対し政治を身近に感じてもらうためのとりくみが紹介されました。

東京地評青年協は、今後、具体的な要求をまとめ都議会各会派への要請行動を行います。

（地域労組こうとう 松井優希書記次長）

## 2021年国際女性デー中央大会開催



世界中の女性が連帯して「暮らし、権利、平和」のために立ち上がる国際女性デーの3月8日に、「コロナ禍ひとりで悩まずつながろう！いのち・暮らし・雇用・営業を守れ！改

憲NO！核兵器禁止条約への参加を！世界の女性と手をつなぎ、平和・ジェンダー平等へ！」のスローガンをかかげ、2021年国際女性デー中央大会をオンラインで開催されました。

早稲田大学名誉教授の浅倉むつ子さんが「ジェンダー平等の実現を目指して一女性の権利を国際基準に」と題して講演しました。日本の女性の権利を国際基準に前進させ、ジェンダー平等社会の実現に向けて運動を強めていこうと話されました。

東京地評女性センターは地下会議室でオンライン参加をしました。YouTubeでどなたでも視聴ができます。ぜひ、ご覧ください。



■総務省役職員の「会食」にはあきれた。山田元内閣広報官は「断らない女」といい、「接待」を受け続けた姿は浅ましく、官僚の退廃の極み。矜持はないのか。谷脇元総務審議官は「ウソ」を繰り返し、退職金は6千万など許されない。■1500円めざす最賃運動、組合員拡大を中心とする春の運動がスタートする。今、組合員は1550人。つながりを生かし、運動の輪を広げよう。3.28はその決起集会。CU事務所の裏は長い桜並木がつづく、丁度満開のはず。学び、交流、元気を出そう。■文京のニュースが届いた。A4一面だが、よく構成されている。労働相談活動、大気汚染の仲間のたたかい、共済の活用、ホッとさせる記事も必ず載せて。今回は上越の壮大な山並みをバックに、山田さんかスノーシューで歩いている姿が印象的。爽快な気分をいただいた。リフレッシュ！